



# 市民総参加子ども育成運動 子どもへのまなざし運動特集

おだてるでもなく、無責任に「大丈夫」と言うでもない。一人の間人を見守る温かいまなざしと可能性への信頼が大きな励みになります。

## 第32回 佐賀市青少年健全育成推進大会

### 第9回 子どもへのまなざし運動推進大会

■日時 2月12日(日) 13時30分～  
受付13時～

■場所 メートプラザ佐賀

#### ■内容

- ・青少年健全育成に関する標語入賞者表彰
  - ・第7回まなざしキラリ賞表彰
  - ・まなざし運動実践発表
  - ・パネルディスカッション
  - ・「まなざし座談会」
  - ・コーディネーター
  - よしのがり牟田さん
- ※まなざし運動の実践者の皆さんに、運動を通じて感じたこと、子どもたちや地域への想いなど、お話を伺っていきます。

#### 問い合わせ

佐賀市教育委員会 社会教育課  
子どもへのまなざし運動推進室  
☎40・7354 FAX24・2332  
✉shakaikyoiku@city.saga.lg.jp

### 「マラウイ」のことを知ってる？

新栄小学校

昨年12月7日、新栄小学校で「みんなちがって、みんないい」のテーマで人権集会が行われました。

アフリカ・マラウイでの研修を終えた吉田宗平先生の話と共にマラウイの景色が映し出されると、初めて見る国に興味を持ったようでした。

水の入った桶を頭に乗せた少女や、手で洗濯する姿、裸足で遊ぶ少年など、自分たちと全く違う生活を知った子どもたちは、驚きながらも思いやりの表情を見せていました。

最後に吉田先生は「住んでいる国や肌の色、話す言葉は違って、みんなちがって、みんないい」と結びました。子どもたちはこの人権集会をきっかけに「相手の心を思いやる心」を育みながら、グローバルな社会へ大きく羽ばたいていくことでしょう。

まなざしリポーター 的野 勝



### めざせ1分間！わくわくスピーチ

北川副小学校

「今日、私は図書館で…」帰宅後、お母さんに、今日の出来事を話す1年生。相づちを打ちながら聴くお母さん。終わったら「わくわく北小っ子カード」にサインをします。

目線を合わせ、1分間で学校の出来事を家族に話す「めざせ1分間！わくわくスピーチ」は、昨年1月から始まりました。「学校であった事を話さない子だったが、スピーチで様子が分かり親子の会話が増えた」「友達の事など、自分なりに考えているなど感じる」「1分間には届かないが、親子で笑い合ういい時間になっている」など嬉しい感想が寄せられています。

子どもの話を聴く。それは、その子の心の声も受け取ることです。忙しい日々ですが、腰を下ろして子どもの話を聴きませんか。

まなざしリポーター 新郷 典子



### せんだん亭一門の大舞台

高木瀬小学校

「一席おつきあいを願っておきます！」凛とした口上が教室中に響きます。高木瀬小学校落語クラブの5人は、昨年12月、せんだん亭の噺家として、佐賀市少年の主張大会アトラクションでの落語披露に挑むため稽古に励んでいました。

子どもたちの師匠は、顧問の鮫の門さん酔先生を始めとする佐賀大学落語研究会OB会「笑菱会」の皆さんです。聞く人と心を通わせるため、お辞儀や高座での所作、声の張りまで細かく指導されています。

さて当日。緊張を乗り越えて、「観客を笑いで沸かせる」と語った意気込みどおり、堂々とした姿でした。

まなざしリポーター 熊本 由美子

